

標準単価表

(100㎡当り)

科 目	名 称	形状・寸法	単 位	数量(盛土)	数量(切土)	備 考
材料費	エコシープ	1.0m×25.0m	㎡	120	120	20%ロス
標準使用資材費	アンカー	φ9mm×L200mm	本	—	87	
	止め釘	φ5mm×L150mm	本	471	384	
小 計						
労務費	土木一般世話役		人	0.2	0.4	
	法面工		人	—	1.0	
	普通作業員		人	1.8	0.6	
小 計						
諸雑費	労務費の5%		%	5.0	5.0	労務費

※1 当製品および標準使用資材の仕様は、法面(法長、凹凸、土質)の状況によって変更する場合があります。

※2 製品は品質改良などにより、規格を一部変更する場合があります。

※3 地域によっては、アンカーピンの仕様(径・長さなど)を変更する場合があります。

施工定規図



注意事項

- 廃棄物削減のため、製品にはシートの繋ぎ部分を含む場合があります
- 施工時は、法面の浮き土砂、浮石、かぶりなどを除去してください
- 施工定規図に従って施工してください
- 使用するアンカーは、現場条件に応じて適宜調整してください

免責事項 ※必ずお読みください

- 台風、地震など天災地変による不可抗力に起因する障害、鳥獣等による損害、その他不可抗力等弊社の責めに帰さないと考えられる損害、現行の技術範囲では想定できない事象などでの損害
- 敷設面下地の突起・凹凸・法面崩壊・地盤沈下等による損害、覆土作業における重機・機材などによる損害、火・熱等による損害、有機溶剤・油・化学薬品の投棄・流入による損害、使用者・管理者の使用上の過失もしくは故意による損害

前田工織株式会社



事業所のご案内

製品に関するお問合せ等は
最寄りの事業所にお問合せください



動物繊維製土壌流出防止工

エコシープ

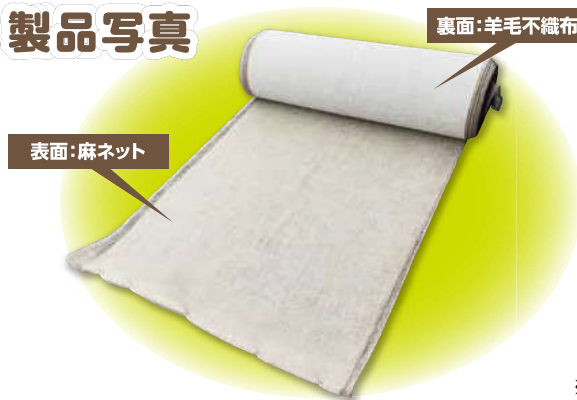
～ 地球の未来を守る、
エコな植生資材が誕生 ～



前田工織

頻発する豪雨災害に備え、環境負荷も軽減

製品写真



製品仕様

品名：エコシープ®

侵食を受けやすい土壌や、乾燥等による植生不良の懸念がある法面に

幅	1m
長さ	25m
不織布	羊毛
表面ネット	麻

※写真は種子・肥料が付着していない状態です

エコシープの特長

①環境負荷が低い

原料に石油由来の素材を用いておらず、土壌微生物により完全に分解されます。

②侵食防止性能が高い

羊毛の柔らかなフェルト構造が土壌に密着し、雨水等による法面侵食を抑制します。

③植生性能が高い

エコシープは保水性や断熱性が高いため、植物を乾燥・温度のストレスから守り、生育環境を改善します。また、羊毛繊維は主にタンパク質から構成されているため、分解後は肥料成分として植物の生育を促進します。

〈素材比較〉

素材	化学繊維不織布	植物繊維シート(例.稲わら)	羊毛繊維シート
製品イメージ			
環境負荷	× 非分解性素材	○ 分解性素材	○ 分解性素材
侵食防止性	○ フェルト状	○ すだれ状	○ フェルト状
植生能力	○ 保温・保水	○ 保温・保水	○ 保温・保水・肥料

耐侵食試験



植生試験



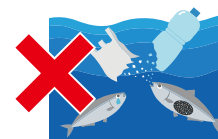
相反する課題を解決する鍵は、過酷な自然を生き抜く“羊”の力。
自然素材で、人と地球を守る。持続可能な未来へ。

地球に優しく

生分解性であり、マイクロプラスチックフリー

エコシープは、動物性の羊毛不織布と植物性の麻ネットで構成されており、全ての素材が生分解性の環境配慮型資材です。施工後は土壌微生物によって分解され、マイクロプラスチックなどの有害物質を発生させず、生態系への悪影響を及ぼしません。

※エコシープは、施工後約1年で分解しますが、分解速度は地域や気候、土壌環境によって異なります

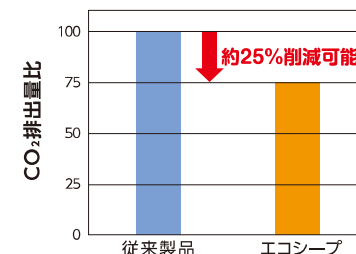


100%生分解

CO₂の発生も抑制

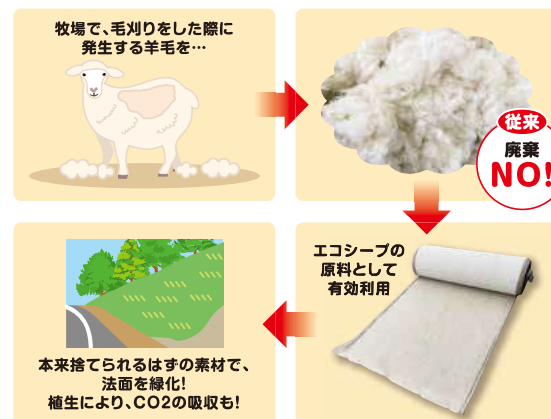
エコシープは、副産物羊毛を主原料とした植生シートであるため、従来の化学繊維製品と比べ、製造時に排出されるCO₂排出量を約25%削減可能と推定しています※1。また、羊毛繊維には天然の肥料効果があるため、化学肥料(製造時に大量のCO₂を排出)の配合量を低減することができ、この事もCO₂排出削減に貢献します。

※1 自社試算によるものです



弊社従来品(シート類)とのCO₂排出量
※従来品を100とする

原料の一部に国産廃羊毛を使用



エコシープには、国内で従来廃棄されていた羊毛を原料の一部として活用しています。廃棄物が、防災・減災製品として生まれ変わり、施工後は植物の生長を助けることでCO₂の吸収促進にも繋がるため、社会や環境への多面的な貢献を実現しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS